

市民生活と観光の調和・両立の推進 ～令和8年秋の取組～

- | | | |
|---|------------|----------------|
| 1 | 検討の視点及び全体像 | (1 ～ 7 ページ) |
| 2 | 分野別の観光課題対策 | (8 ～ 21 ページ) |
| 3 | モニタリング項目等 | (22 ～ 26 ページ) |
| 4 | 市民意見募集の結果 | (27 ～ 32 ページ) |

各取組は、**宿泊税を活用**して実施しています（7 ページ参照）。

I 検討の視点及び全体像

- ・ 観光課題対策の位置づけ (2 ページ)
- ・ 令和7年度対策の実績 (3 ページ)
- ・ 令和8年秋対策検討の視点 (4 ページ)
- ・ 令和8年度対策の全体像 (5 ページ)
- ・ 【参考】 京都観光デジタルマップ (6 ページ)
- ・ 【参考】 宿泊税の活用 (7 ページ)

「京都観光・MICE振興計画2030」において京都観光が目指す姿

多彩な共創で未来を切り拓く観光・MICE

- 徹底した観光課題対策に取り組むとともに、観光関連事業者・従事者等、観光客、市民がお互いを尊重し合う関係をつくることで、市民生活との調和・両立の下、京都観光にかかわる全ての人々にとって質・満足度が高く、心や人生を豊かにするといった「観光の本質」を皆が享受できる観光・MICE、そして、市民生活の豊かさの向上につながる持続可能な観光・MICEを目指します。
- 持続可能な観光・MICEの先を見据え、多様で奥深い京都の魅力を活かして多彩な人々を呼び込み、京都に受け継がれる不易流行の思想に基づき、ともに、文化芸術、自然・景観、食文化、人々の暮らし、産業・ものづくり、宗教、精神文化などの京都の魅力を守り、育むことで、新たな文化や産業の創出、京都の魅力・活力の向上につながる、そして、京都の本質を未来へつなぐ観光・MICEを目指します。
- こうした取組を通じて、「多彩な共創で未来を切り拓く観光・MICE」を実現します。

3つのプロジェクト

市民生活と観光をつなぐプロジェクト

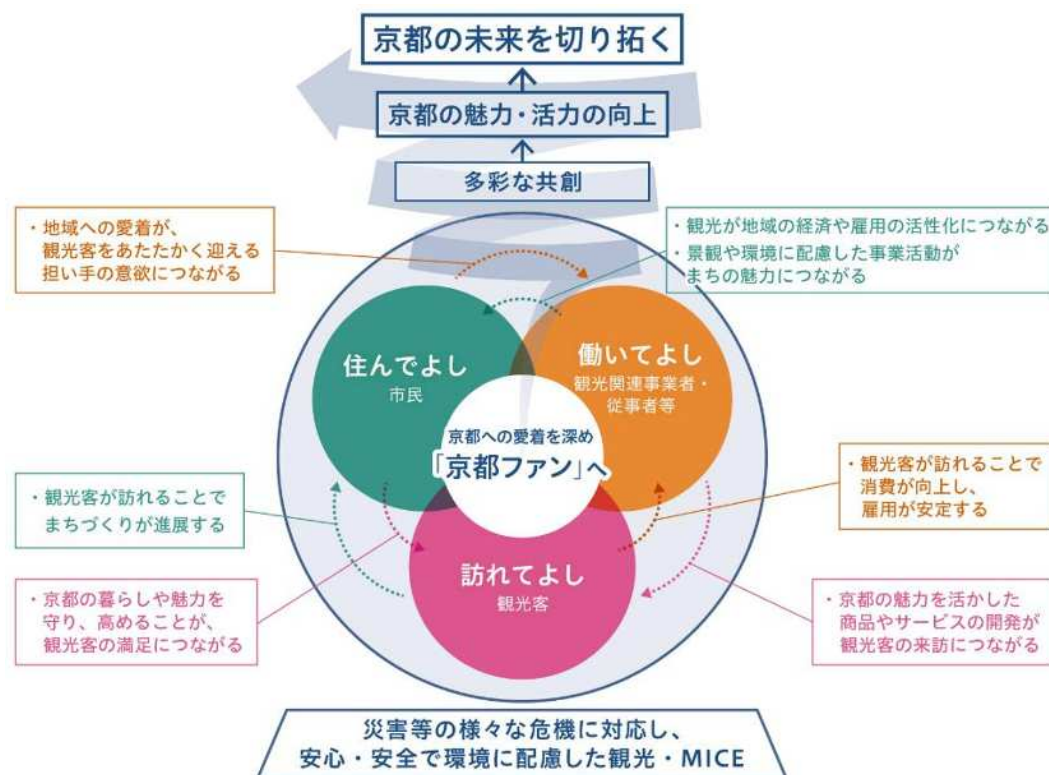
暮らすように旅をつむぐプロジェクト

MICEでつどうプロジェクト

観光課題への対策をより一層強化するとともに、市民が観光の効果をより実感できるような施策を推進するなど、**観光に対する市民の共感の輪の拡大**に取り組んでいきます。

さらに、「持続可能な観光」の基盤になる取組として、観光関連事業者・従事者、観光客、市民の**三者がお互いに尊重しあう関係づくり**を促し、その定着を図ります。

<観光・MICEが目指す姿のイメージ>



【令和7年秋・令和8年春の対策＜視点＞】

- 市民生活と調和・両立した観光の実現に向け、着手可能なあらゆる施策に着手
- 市民意見結果や関連部局の課題認識や区役所・支所に届いている地域の声も踏まえ、全市的な対策に加え、観光課題が特に顕在化している5地域（東山・嵐山・祇園・京都駅・伏見稻荷）の対策を実施

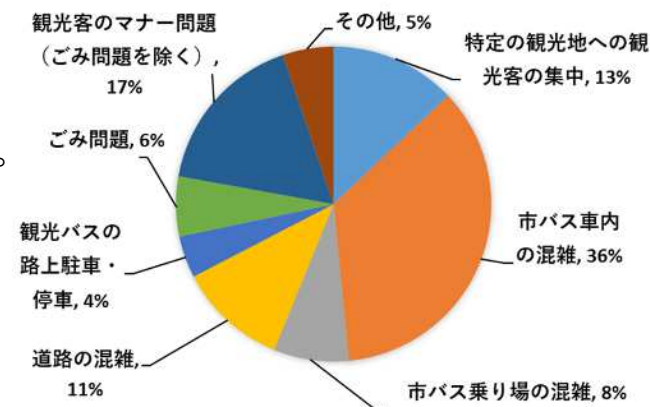
【主な実績】

- ・ 府市連携の取組として、**「川の京都」の魅力発信**を行うとともに、府市周遊観光ツアーでは、一部で募集定員を超過
- ・ 東大路通渋滞緩和に向けた迂回誘導では、車線制限を実施した昨年度と同程度の効果を確認
- ・ 清水坂観光駐車場の完全予約制については、事前決済の導入や修学旅行バスの優先予約の導入により、**無断キャンセル台数の減少、修学旅行バスの予約が取れないといった苦情はなかった。東大路交差点から駐車場入り口までの所要時間が更に短縮**。観光バスの路上滞留対策では、**啓発件数が前年同期比で概ね減少**
- ・ 観光特急バスの最繁忙期（11/22～30の土休日、5日間）の1日平均利用者数は、3,323人／日（R6：3,340人／日）。また、**運行パターンの見直しや、おもてなしコンシェルジュによる御案内、市バスから地下鉄への無料振替等の対策を着実に実施することで市バスの混雑緩和に一定寄与**
- ・ 京都駅構内におけるコインロッカー情報等の一元化発信等により、**市バス車内の大型手荷物携行者数は、D2のりばで3～4%**。また、京都駅では、床面案内サインの整備等により、目立った混雑の発生はなかった。
- ・ 地域と連携した観光マナー啓発・散乱ごみ対策を推進。春秋ともに**ごみの散乱はほぼ見られなかった。**

【市民意見募集に寄せられた声】

- 様々な施策をされているが、改善が見えない。啓発活動の効果が見えない。
- 観光バスが路上に長時間駐車して通行の邪魔になることが減ったり、大声で騒ぐ集団が減った。
- 市バスが混み過ぎており、乗れないことがある。もっと市バスを増便してほしい。
- 観光客が増えている割には抑制できている方なのかもしれないが、特に改善していると思う点はない。

グラフ：市民意見募集の結果（「特に印象に残った観光課題」）
⇒詳細は27～32ページ参照



【令和7年度の総括】

- 春・秋等の観光シーズンは、多くの観光客の来訪が見込まれるとともに、令和6年の観光客数が過去最高水準であったことを踏まえ、引き続き、市民生活と観光の調和・両立に向けて、観光課題対策に加えて、観光関連事業者・従事者等、観光客、市民の三者がお互いに尊重しあう関係づくりに資する取組を実施
- 関係部局による連携の下、観光の分散化や市バスの混雑対策を推進するとともに、地域・事業者と連携した観光マナー啓発・散乱ごみ対策、市民と観光客の交流の場の創出など、網羅的に取り組むことで、市民生活と観光の調和・両立に一定寄与したものと認識
- 他方、「京都観光に関する市民意識調査」では、約8割の市民が「混雑やマナー違反に迷惑している」と感じていることから、市民生活と観光の調和・両立を目指した取組を継続・充実させる必要がある。



【令和8年秋対策検討の視点】

- ・ 令和7年の観光客数及び外国人観光客数は、6,279万人（外国人観光客数は1,268万人と過去最高。日本人観光客数は過去最高のH27（5,202万人）に次ぐ5,011万人。）と過去最高を更新する状況の中、市民生活と観光の調和・両立に向け、更なる取組の充実が必要であると認識
- ・ 市民・観光客双方にとっての満足度向上を目指し、京都府のみならず滋賀県や大津市とも連携し、広域的な分散化を更に進めるとともに、市民生活への影響の抑制・未然防止に資する対策の推進及び情報発信の強化に力点を置く。
- ・ 観光客、観光事業者・従事者等、市民の3者がお互いを尊重しあえるよう、観光の意義や効果を市民にも実感いただくことで、観光に対する市民共感を広げつつ、地域と連携した対策を継続するとともに、観光客に対しては、地域に配慮した意識・行動の普及・定着化を進める。
- ・ 持続可能な京都観光の実現に向け、常に改善点を模索しながら、より効果的な対策を講じ続けることはもとより、各分野における定量的なモニタリング指標等も注視しながら、精度の高い現状把握や効果の測定・検証を行い、今後の事業にいかしていく。

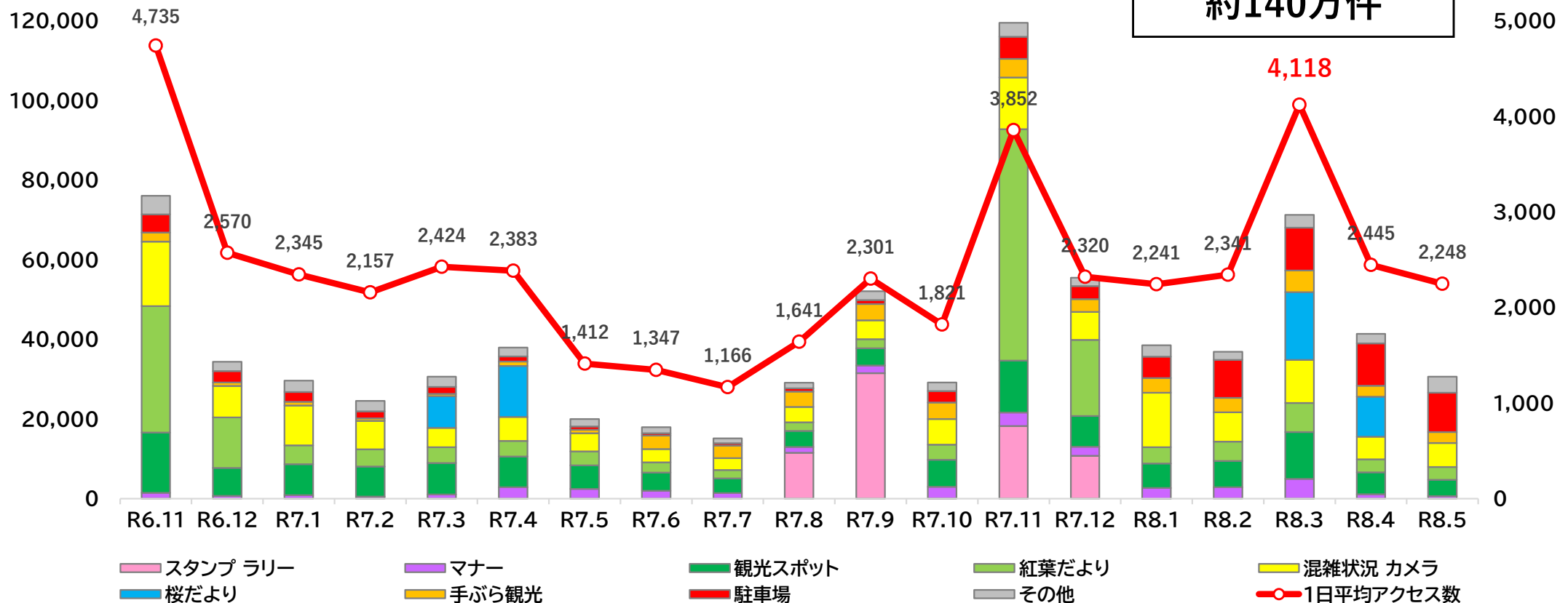
課題及び対策の区分		事業名	事業数	計(※)
観光課題対策	分散化・周遊観光の推進	・まるっと京都HP刷新 ・アドベンチャーツーリズムの推進 ・京都観光デジタルマップ（京スマ）を活用した情報発信 等	13事業	214,304千円
	道路の混雑対策	・大型バスの運行データ等を活用した情報分析 ・パークアンドライド、観光地交通対策（東山地域）に係る情報発信 ・嵐山観光駐車場混雑緩和対策 等	10事業	92,425千円
	市バスの混雑対策	・市バスの「前乗り後降り方式」の均一運賃システムへの導入 ・市バス等の旅客流動調査及びお客様アンケート調査 ・路線・ダイヤ編成に向けたデータ分析基盤の整備 等	14事業	1,183,289千円
	手ぶら観光の推進	・京都駅デジタルマップの運用 ・市内全域を対象とした大型手荷物携行者数調査 等	6事業	36,200千円
	京都駅一極集中の緩和	・京都駅一極集中の緩和に向けた情報発信 等	3事業	1,333,500千円
	観光マナー啓発・散乱ごみ対策	・ツーリストシップの周知をはじめとする観光マナー啓発事業 ・観光地美化推進調査事業 等	9事業	243,440千円
観光に対する共感の輪の拡大		・市バス等の市民優先価格の実現 ・市バス等の市民優先価格実施に向けた民間バス事業者への支援事業 等	5事業	295,531千円
計（【参考】令和7年度：48事業、約27億 4,200万円）			60事業	3,398,689千円

※ 民泊対策関係は含まない。また、1億円超えのハード整備事業は以下のとおり。
 バスロケーションシステムの更新（154,000千円）、市バスの「前乗り後降り方式」の均一運賃システムへの導入（181,104千円）、
 デジタル乗車券やクレジットカードによるタッチ決済の導入に向けた機器改修（242,369千円）、
 京都駅新橋上駅舎・自由通路整備事業（1,254,000千円）、市バス等の市民優先価格実施に向けた民間バス事業者への支援事業（261,000千円）

- 観光スポット情報（神社仏閣、桜だより・紅葉だより等）、混雑状況カメラ、観光バス駐車場の満車・空車情報及び事前予約・決済、手ぶら観光サービス窓口情報、観光マナー情報等を一元的に発信
- 1日平均アクセス件数は約2,500件で、今春の観光シーズンは桜の見頃情報の期間限定発信等を行い、約4,000件に達した。京都駅デジタルマップ（駅スマ）との連動や、観光バス駐車場の予約システムの導入により、認知度の定着が着実に進んでいる。
- 利用者の大半（約8割）は日本国内であるが、台湾、米国、香港、中国、韓国など、海外からの利用も拡大している。（サイト閲覧時の言語で判別）



<カテゴリ別スポット閲覧数（左軸）及び1日平均アクセス数推移（右軸）>



○宿泊税の使途について

京都市の宿泊税収入は、「国際文化観光都市としての魅力向上」と「観光の振興」に活用しており、本資料に掲載している各取組の財源にも充当。**宿泊税の使途について、市民の皆様、そして観光客（宿泊客）の皆様にも伝えるように、動画を作成して、配信中**



(動画二次元コード)



○宿泊税の見直しについて

「持続可能な観光」の実現に向けた取組の財源を確保するため、税率を負担能力に応じて一部引き上げる条例改正案が令和7年2月市会で可決。令和7年10月に総務大臣同意を得て、令和8年3月1日から税率改定

引上げによる税収を活用し、「多様で奥深い魅力を活かした「観光」の推進」及び「市民生活と観光の調和・両立の更なる推進」に係る施策・事業を推進する。

※ 令和7年度税収59億円（予算額）に対し、見直し後の令和8年度税収額は132億円を見込む。

宿泊料金 (1人1泊につき)	税率	
	令和8年2月まで	令和8年3月以降
6,000円未満	200円	200円
6,000円以上20,000円未満		400円
20,000円以上50,000円未満	500円	1,000円
50,000円以上100,000円未満	1,000円	4,000円
100,000円以上		10,000円

2 分野別の観光課題対策

観光課題対策

分散化・周遊観光の推進	(9 ページ)
道路の混雑対策	(10 ～ 11 ページ)
市バスの混雑対策	(12 ～ 15 ページ)
手ぶら観光の推進	(16 ページ)
京都駅一極集中の緩和	(17 ページ)
観光マナー啓発・散乱ごみ対策	(18 ～ 20 ページ)

観光に対する共感の輪の拡大 (21 ページ)

各取組における <実施時期> は予定

課題認識

- ・ 時期や時間の分散傾向が進んでいるものの、依然として主要な観光地に観光客が集中している状況

対策の方向性

- ・ 場所の分散化について、本市の更なる魅力発信に加え、周辺地域との歴史的な繋がりの中で醸成された魅力的なコンテンツも多数存在することから、近隣自治体とも連携した広域連携の取組を推進
- ・ 継続した混雑情報の発信により、特定観光地への集中の緩和、観光地の分散を図る。

【充実】 多様なエリア・コンテンツを活用した魅力発信事業



- **京都府と連携した「川の京都」の促進**
全国的な広がりをもせる御船印（約150社加盟）に参加している府内各所の舟運スポットを繋ぐ周遊ラリーを実施

<実施時期>
9月～12月中旬頃

- **滋賀県と連携した「川の京都」の促進**
琵琶湖疏水で結ばれた滋賀・大津エリアとの広域連携強化に向けた、山科を基点とする周遊ラリーの実施

<実施時期>
10月～12月上旬頃

- **エリアプロモーション**
伏見、大原、高雄、山科、西京、京北の6つのエリアを中心とした市内の多様なエリアにおける奥深い京都の魅力を発信

<実施時期>
10月頃から順次実施



【新規】 AIを活用した観光案内

A I 技術を活用し、混雑状況を踏まえた新たな観光プランの提案や観光地のマナー啓発等を行う「A I を活用した観光案内」を開始

<実施時期> 令和8年度中に試行実施予定
<対応言語> 日・英・中（簡体字、繁体字）・韓（予定）



府市連携による朝・夜観光等コンテンツ造成

- ・ 府市の「朝・夜の多様な過ごし方」を提案する意味で、今まで記事化されていないコンテンツの記事制作を実施
- ・ 動画を活用したSNS広告などプロモーションの実施
- ・ 「朝観光・夜観光」の府市の観光・文化イベント情報収集・掲載

<実施時期>
6月頃から順次実施中



京都朝観光・夜観光キービジュアル

【新規】 府市連携「まるっと京都」HPの刷新

HPのリニューアル・府市周遊モデルコースの掲載

ポータブルライブカメラの設置 清水道バス停留所・京都駅烏丸口タクシー乗り場の混雑状況を配信予定

京都観光デジタルマップ「京スマ」を活用した混雑情報の発信 「駅スマ」（16ページ参照）と併せて情報発信を強化

時期の分散化の取組 <実施時期> 「京の夏の旅」7月～9月、「京の冬の旅」1月～3月

課題認識

- ・東山（東大路通等）、嵐山（長辻通等）においては、秋の観光シーズンにおいて、特に顕著な混雑が生じている。
- ・清水坂観光駐車場の完全予約制については、駐車場の利用方法を利用者に定着させる必要がある。
- ・観光バスの路上滞留は減少傾向にあるものの、データ分析の結果、主要幹線道路を含め、様々なエリアで路上滞留が散見されているほか、早朝時間帯に滞留が多い。

対策の方向性

- ・特に顕著な混雑が生じる東山（東大路通等）、嵐山（長辻通等）の混雑緩和に資する取組を継続して実施
- ・清水坂観光駐車場の完全予約制は、春の運用見直し結果を踏まえ、継続実施
- ・観光バスの路上滞留対策は、データ分析結果踏まえて啓発活動を実施

東山地域における交通対策の実施



交通対策の様子



交通対策の様子

- ・実施時期：11/21(土)、22(日)、23(月・祝)、28(土)、29(日)
- ・対策詳細：
 - ①東大路通北行車両に対する高台寺南門通への右折進入禁止
 - ②東大路通南行車両に対する市営清水坂観光駐車場方面への左折進入禁止
 - ③五条通西行車両に対する市営清水坂観光駐車場方面への右折進入禁止
 - ④大谷本廟前タクシー乗り場の閉鎖（閉鎖スペースにバス乗り場案内図等を設置）
 - ⑤臨時交通規制に伴う警備・誘導
 - ⑥その他の取組
 - ・電子表示板による情報発信
 - ・SNS等を活用した情報発信

嵐山地域における交通対策の実施



交通対策の様子



歩行者専用道路規制

- ・実施時期：11/21(土)、22(日)、23(月・祝)、28(土)、29(日)
※長辻通の北行一方通行の平日拡大は11/16(月)～20(金)、11/24(火)～27(金)
- ・対策詳細：
 - ①臨時交通規制（長辻通の北行一方通行の平日拡大及び歩行者専用道路規制嵯峨街道の南行一方通行）
 - ②臨時交通規制に伴う警備・誘導
 - ③観光客の比較的空いているエリア（嵯峨エリアへの分散化）
 - ④竹林の小径入口における駐停車対策（電柱幕、看板等の設置）
 - ⑤嵯峨街道の臨時交通規制（南行一方通行の実施）
 - ⑥渡月橋の歩車分離
 - ⑦丸太町通における自家用車流入抑制

充実 観光バスの路上滞留に係る現地啓発活動等の実施

- ・より効果的な現地啓発活動の実施等につなげるため、新たに京都市内を運行する大型バス（一部）の運行データを基に、路上滞留状況を分析
- ・分析結果を踏まえ、1日を通して路上滞留がみられる区間及び早朝等の特定の時間帯に路上滞留がみられる区間を絞り込み、実態に応じた啓発を実施

<実施時期> 秋の観光シーズン期間中の11日間

【参考】大型バスの運行データを基にした分析結果の概要

- ・市内中心部における路上滞留が多く、東西方向は御池通・五条通、南北方向は烏丸通・堀川通に集中
- ・多くの観光客が訪れるスポットからやや離れた場所で発生
- ・路上滞留が多いエリアでは、朝の時間帯（7～9時台）の発生が最も多い傾向



観光バス駐車場の満車・空車情報を常時発信中

清水坂観光駐車場の完全予約制 実施時期：10/7(水)～12/10(木)

令和8年春から事前決済の導入等、運用方法を見直したことによる効果が見られたこと、また、駐車場の利用方法を利用者に浸透あるいは定着させることから今秋も引き続き同様の取組を実施する。

- ・事前決済システムの運用
駐車予約の際に利用する、事前決済（利用日の7日前に決済）ができる予約システムの運用
- ・乗客の乗降のためのバスの一時駐車料金の設定（1,500円／回）
来場の遅延等により予約枠の時間内だけでは乗車・降車ができない場合に使用できる一時駐車料金を設定
- ・修学旅行の優先予約
一般予約より7日前からの予約が可能



清水坂観光駐車場

嵐山観光駐車場の自家用車特別料金について

- ・周辺道路の混雑緩和のため、自家用車に改定した特別駐車料金を適用
- ・料金改定による実施期間の増収分についてはパークアンドライド促進のための予算に充当。

<実施時期> 10/7(水)～12/10(木)

（参考）令和8年10月1日より嵐山観光駐車場の自家用車の料金が変わります。

通常期	繁忙期 (特別駐車料金)	通常期		繁忙期 (特別駐車料金)	
		平日	土日祝	平日	土日祝
1,040円	1,250円	1,000円	1,500円	1,500円	2,000円

パークアンドライドの推進

- ・情報発信等により、階層的な流入抑制の取組を実施
 - ・指定駐車場における駐車料金の無料対応を実施。イオンモール及びタイムズ24と連携したパークアンドライドの取組を実施（予定）
- <実施時期> 11月

白タク・違法ハイヤー対策（啓発活動等）

- ・近畿運輸局京都運輸支局及び京都府警察と連携し、啓発活動を実施
- ・日本政府観光局（J N T O）の海外事業所を通じて、各国・地域の旅行事業者等に白タクに関する啓発文書を周知

<実施時期>

啓発活動は通年実施（東山6/18(木)実施）、啓発文書は10月中旬発信予定

課題認識

- ・市民意見募集における「特に印象に残った観光課題」では、市バスの混雑が約4割を占めている状況
- ・一部の路線・時間帯においては、市民の皆様スムーズに御利用いただけない事態が生じており、引き続き、市バスの混雑対策を推進する必要があるものと認識

対策の方向性

- ・「観光特急バス」の更なる利用促進
- ・地下鉄をはじめとした鉄道を活かした移動経路の分散
- ・市バス・地下鉄の臨時増発とお客様案内の充実

「観光特急バス」の利用促進 ～市民利用と観光利用の棲み分けに向けて～

○「観光特急バス」の運行

- ・運行経路：

【EX100号系統】京都駅前～五条坂(清水寺)～祇園～
岡崎公園 美術館・平安神宮前～銀閣寺前(36便／日)
※祇園始発8便含む

【EX101号系統】京都駅前～五条坂(清水寺)(8便／日)

- ・実施日：通年の土曜・休日ダイヤ運行日

○ **充実**「ポケロケplus+」を活用した案内活動

清水道や金閣寺道など、観光地最寄りの停留所等にて、バスをお待ちのお客様に対し、「ポケロケplus+」の周知も兼ねてタブレット等を活用し、観光特急バスや、比較的混雑していないバスへの誘導を図る。

京都駅前等において、PRカードを配布し、旅行の道中やお帰りの際に「ポケロケplus+」を利用いただけるよう、周知する。

○ **新規** 京都市バス“おもてなしコンシェルジュ”による「観光特急バス」に乗るっ！キャンペーン

令和6年度に実施した「観光特急バス」10万人ご利用キャンペーンでお客様から好評をいただいたコンシェルジュ添乗による案内により、更なる利用の促進を図る。

- ・実施日：10/10(土)～12(月・祝)



10万人キャンペーンの様子

○ **充実**「観光特急バス」の利用促進に向けたPR

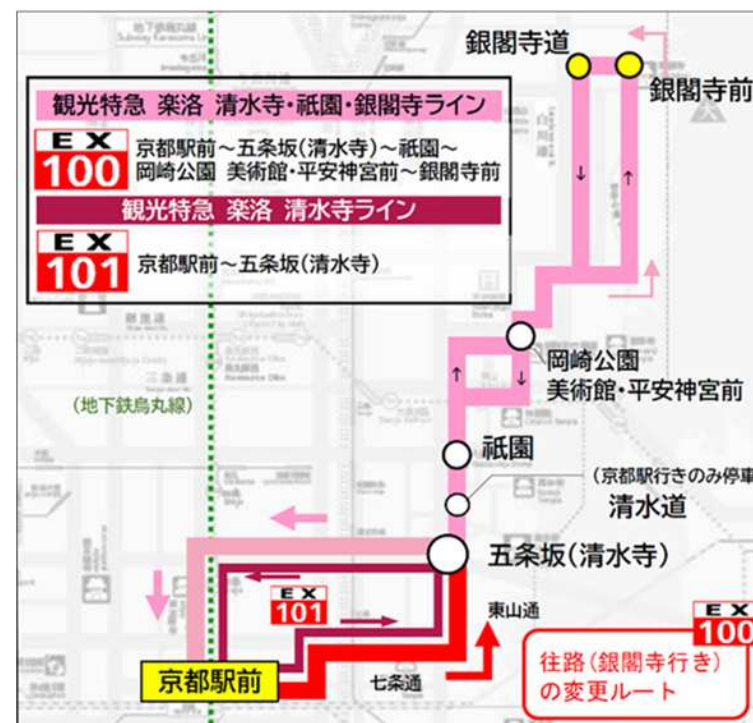
多言語でのWEB記事掲載をはじめ、デジタル広告の配信※、東京駅※をはじめとした鉄道駅でのPRや空港、宿泊施設等におけるリーフレットやデジタルサイネージ等の広告媒体を活用した「旅マエ・旅ナカ」での効果的なPRを実施

※今秋から新たに追加

○ EX100号系統の経路変更

昨年秋に定時性確保の取組として効果があった、経路変更を引き続き実施。左折に時間を要する五条坂交差点をスムーズに通過することを目的に、EX100号系統の経路（京都駅→五条坂間（往路））をEX101号系統と同経路（七条通→東山通経由）に変更

- ・実施日：11/21(土)～29(日)の土休日 ※重点期間



○「観光特急バス」の旅客流動調査の実施

観光特急バスの利用促進に向けて、詳細な御利用状況調査を全便で実施

- ・実施日：11/1(日)（※6/21(日)に1回目は実施済み）

市バス・地下鉄の臨時増発とお客様案内の充実等

○ 市バスの臨時増発

< 東山方面 >

・民間バス（京都バス）と連携し、
混雑対策をより積極的に推進します。
・平日にも臨時バスを運行します。

- ① **充実** 京都駅から東山方面へ、
「観光特急バス」と206号・106号系統等と合わせ、
御利用が多い9～11時台は、3～4分間隔（最大24便／時）で運行

・運行経路：京都駅前～五条坂（清水寺）～祇園～三条京阪前
・実施日：10/31(土)～11/29(日)の土休日

- ② **充実** 東山方面から京都駅へ向かう206号系統(区間運行便)を臨時増発する。

・運行経路：東山安井(始発)→清水道→東山七条→京都駅前
・実施日：10/31(土)～11/29(日)の**毎日（平日も含めて運行）**
・運行経路：馬町(始発)→東山七条→京都駅前
・実施日：11/21(土)～29(日)の土休日 ※重点期間

- ③ **新規** 東山エリアの混雑対策として、**民間バス（京都バス）と連携し、**
午後のお帰りの時間帯や、清水寺の夜間ライトアップにあわせて、
京都駅方面への臨時便を増発する。

・実施日：10/31(土)～11/29(日)の土休日

< 金閣寺方面 >

- ① 移動経路の分散を図るため、鉄道駅と金閣寺を結ぶ25号・205号系統等を臨時増発する。

・運行経路：西大路四条（阪急・嵐電西院駅）(始発)～西ノ京門町（JR門町駅）
～金閣寺道～北大路バスターミナル（地下鉄北大路駅）
※臨時25号系統は京都外大前（始発）
・実施日：10/31(土)～11/29(日)の**毎日（平日も含めて運行）**
・運行経路：西ノ京門町（JR門町駅）(始発)～金閣寺道～
北大路バスターミナル（地下鉄北大路駅）
・実施日：11/21(土)～29(日)の土休日 ※重点期間

- ② 沿線に観光スポットが点在するきぬかけの路を経由し、鉄道駅・
金閣寺と嵐山を結ぶ109号系統（楽洛 金閣寺・嵐山ライン）を運行する。

・運行経路：北大路バスターミナル
（地下鉄北大路駅）～金閣寺道～
大覚寺～嵐山

・実施日：11/21(土)～29(日)
の土休日 ※重点期間



楽洛 金閣寺・嵐山ライン



観光特急バス及び臨時増発する系統（※）や、観光に便利な系統の路線図

○ 地下鉄の臨時増発

烏丸線（国際会館～竹田間）

1日当たり12往復

・実施日：10/31(土)～
11/29(日)の土休日



地下鉄烏丸線20系車両

市バス・地下鉄の臨時増発とお客様案内の充実等

○ 京都市バス“おもてなしコンシェルジュ”の活動

京都駅前では、11月は平日も含めて毎日配置。観光地最寄りの停留所（祇園・清水道・五条坂・金閣寺道）では、配置場所と配置日数を拡大し、活動の充実を図る。



京都駅前バスのりば



清水道（南行）Aのりば

○ 観光地最寄りのバス停留所における案内員の配置

観光地最寄りの停留所等において、バス待ち旅客の案内・誘導により、停留所付近の環境改善や乗降時間の短縮によるスムーズな運行を目指す。

○ 主要バス停留所及び主要地下鉄駅での案内活動

・実施日：今後調整

○ 清水道（南行・Aのりば）停留所のバス待ちスペースの設置

昨年秋に引き続き、多くのお客様や歩行者で混雑する「清水道（南行・Aのりば）」停留所のお客様のバス待ち環境と歩道の通行環境の改善を図るため停留所に近接する駐車場を活用し、バスをお待ちいただくスペースとして運用

・実施日：11/21(土)～29(日)

の土休日 ※重点期間



清水道（南行）Aのりば

○ **充実** 「ポケロケplus+」の更なる周知

市民のみならず、観光で入洛されるお客様にも「ポケロケplus+」を活用いただき、お客様が自ら混雑の回避とスムーズな移動方法を選択いただけるよう、秋の観光シーズンに向けて更なる周知の強化を図る。

・実施内容

- (1) 市バス外側看板への掲示
- (2) 京都駅前バス各のりば 大型案内モニターへの表示
- (3) 交通局や市公式SNS（Instagram／X(旧Twitter)／LINE）で発信
- (4) 各停留所でのPR強化
- (5) 市バス車内でのポスター掲示（全車両）

※株式会社京都銀行と、駐車場を運営する銀泉株式会社の御協力により実施

市バス・地下鉄の臨時増発とお客様案内の充実等

○ 金閣寺道(北行)停留所の分設

金閣寺道(北行)について、繁忙期に行先・方面別に分設することで停留所付近の混雑緩和を図る。

- (1) 金閣寺道(北行)Cのりば1(地下鉄北大路駅方面)
取扱系統：25号、102号、109号、204号、205号、M1号系統
- (2) 金閣寺道(北行)Cのりば2(その他の行先)
取扱系統：12号、59号系統

・実施日：10/10(土)～12(月・祝)
10/31(土)～11/29(日)



○ 五条坂(南行)停留所の休止

清水道(南行)停留所については、行先・方面別に分けることで、分かりやすさの向上と停留所付近の混雑緩和を図っている。これに加えて、観光シーズン等の多客時には、五条坂(南行)停留所を休止し、東山エリアを走行するバスの定時性向上を目指す。

・実施日：10/31(土)～11/29(日)



清水道(南行)停留所の分設と五条坂(南行)停留所の休止

地下鉄をはじめとした鉄道を活かした移動経路の分散

○ 市バスから地下鉄への無料振替

- ・実施日：10/31(土)～11/29(日)の土休日
- ・実施停留所：東山三条（地下鉄東山駅）
金閣寺道（地下鉄北大路駅）

○ **充実**「地下鉄・バス1日券」の利用促進に向けたPR

多言語でのWEB記事掲載をはじめ、デジタル広告の配信※、東京駅※をはじめとした鉄道駅でのPRや空港、宿泊施設等におけるリーフレットやデジタルサイネージ等の広告媒体を活用した「旅マエ・旅ナカ」での効果的なPRを実施【再掲】

※今秋から新たに追加

○ 「地下鉄・バス1日券」の臨時販売

- ・実施日時：未定(今後協議)
- ・実施場所：新幹線京都駅2階コンコース内

○ 市内周辺部への誘客キャンペーンの実施

「市バス赤字系統の利用促進」と「地下鉄とバスを組み合わせた移動への誘導」の2つの観点の下、山科・醍醐エリア及び洛西エリアを中心とした市内周辺部への誘客キャンペーンを実施

・実施期間：10月～12月(予定)



新幹線京都駅での臨時販売の様子



地下鉄・バス1日券でめぐる！
秋の京都らくらくさんぽ
(R7市内周辺部への誘客キャンペーン)

課題認識

- ・市民意見募集の結果等から、「市バス車内の混雑」を懸念する声が多い。
- ・大型手荷物の携行者数調査でも、京都駅前市バスのりば等において、市バス車内への持ち込みを一定数確認

対策の方向性

- ・京都駅のコインロッカーの満空情報の発信や手ぶら観光サービス窓口への案内誘導の強化、窓口負担の軽減、利用者の利便性向上

京都駅デジタルマップ（駅スマ）の運用

京都駅構内のコインロッカーの位置や満空情報、手ぶら観光サービス窓口、市バス乗り場等の情報を一元的に発信するとともに、現在地から目的地までの徒歩経路検索も可能な「京都駅デジタルマップ（駅スマ）」の運用

京都駅周辺の窓口を対象とした事前予約システムの運用

京都駅周辺の手ぶら観光サービス窓口への利用促進はもとより、各窓口での混雑緩和を図るため、京スマ・駅スマ内で事前予約システムを運用（対象窓口：15窓口）

大型手荷物を携行する観光客数等の調査

市バス車内に大型手荷物を携行する観光客数等の実態を把握するため、京都駅前B2・D2市バスのりばに設置しているカメラ等により、当該情報等を取得・分析＜実施時期＞10/1(木)～12/31(木)の期間中に73日間調査を実施

さらに、京都駅以外の市内広範囲における実態把握のため、令和8年春に引き続き、秋の観光シーズンも市内観光地周辺の市バスのりば等で5日間調査を実施予定

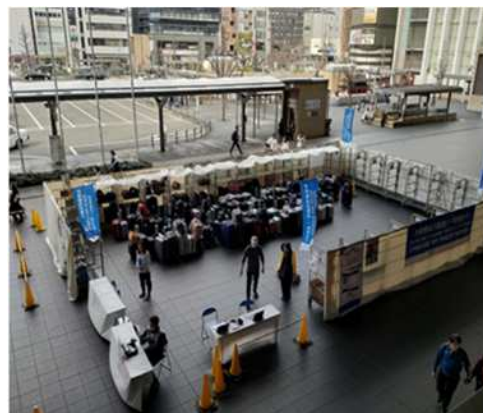
「HANDS FREE KYOTO」での情報発信

掲載事業者数163事業所（令和8年3月末）

臨時手荷物配送・預かり所の設置・運営

令和8年春の観光シーズンに引き続き、秋の観光シーズンでも京都駅（京都駅ビル駅前広場）において臨時手荷物配送・預かり所を設置のうえ、手荷物の宿泊施設への当日配送及び一時預かりサービスを実施予定

＜実施時期＞ 11/21(土)～11/29(日)の土日祝【5日間】



※ 計7言語（日・英・繁・簡・韓・仏・西）で発信
アプリインストール不要・利用料無料
バリアフリールートの経路設定可能



（駅スマ二次元コード）

課題認識

- ・「観光客が京都駅に一極集中する」こと、さらに「京都駅を発着する一部のバス路線に観光客が過度に集中する」ことが、公共交通における観光課題の一つと認識

対策の方向性

- ・サブゲート（周辺駅）への分散化等を促すため、観光客の「日常生活・出発地」、「車内・経路」、「目的地直前」という3つの段階に応じた情報発信等

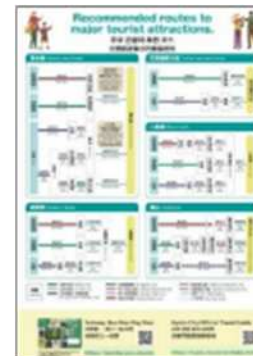
関西圏における京都駅を経由しない入洛ルート等の情報発信の強化

大阪府内の旅客案内施設・宿泊施設等における情報発信を実施（多言語発信）

<実施時期>

9/1（火）～順次

（重点実施期間：10/1（木）～11/30（月））



配架チラシ（イメージ）



宿泊施設における配架の様子

デジタル広告による情報発信の強化

日常生活・出発地（旅マエ）及び滞在・旅行中（旅ナカ）の各段階で、京都観光を予定する外国人観光客等に対し、デジタル広告（Facebook、Instagram等）により、サブゲート利用を促す多言語での情報発信を実施する（配信地域：国内、欧米豪、韓国、台湾、香港、中国本土）

<実施時期>

11/1（日）

～11/30（月）



発信内容イメージ

鉄道事業者等と連携した情報発信

鉄道事業者と連携し、日常生活・出発地、車内・経路、目的地直前の3つの段階に応じた、サブゲートへの分散化を促す情報発信を実施

- ・日常生活・出発地：駅デジタルサイネージにおける発信 等
- ・車内・経路：JR西日本在来線における車内放送 等
- ・目的地直前：新幹線京都駅コンコースに設置した情報案内板による発信 等

<実施時期>

主に11月



京都駅タクシーのりばにおける利用者の滞留対策

京都駅タクシーのりばに誘導員を配置して滞留対策を実施

課題認識

- ・京都観光に関する市民意識調査等の結果において、「観光客のマナー問題」を懸念する声が依然として多い。
- ・散乱ごみ対策は、この間成果を挙げている多様な取組を継続するとともに、地域・事業者の主体性を高める必要がある。

対策の方向性

- ・観光マナーについて、行政からの押し付けではなく、納得感を持って理解、行動していただく取組を推進
- ・散乱ごみ対策について、引き続き、各地域の住民等との対話を重ねながら、地域・事業者との3者連携による対策を推進

充実 “相手に届く”旅マエから旅ナカまでのマナー啓発

京都の観光マナーを理解し賛同いただいた上で、京都観光を楽しんでいただける観光客を増やす取組として、「KYOTO TOURISTSHIP ～住む人も、旅する人も、心地よい京都へ～」を実施

○ 専用サイトの開設

京都の観光マナーに対する理解を深めていただいた上で、賛同していただける専用サイトを開設

<実施内容>

- ・当該サイトを通じて、地域に配慮した観光の趣旨に賛同いただき、賛同者数を当該サイト上に表示
- ・当該取組の趣旨や当該サイトへの誘導を目的とした動画を配信
- ・同時に観光マナーの理解促進にも繋がるよう周知啓発を行うことで、観光マナー啓発効果の定量的な把握にも資する取組とする。

<実施時期>

9月下旬頃から実施（～3/31(水)）

○ 京都観光マップのリニューアル

多くの観光客の方に御利用頂いている京都観光マップに、京都観光の際に注意していただきたい観光マナーについて、ピクトグラムやイラスト等を活用して理解を深めていただくけるようにリニューアルを予定

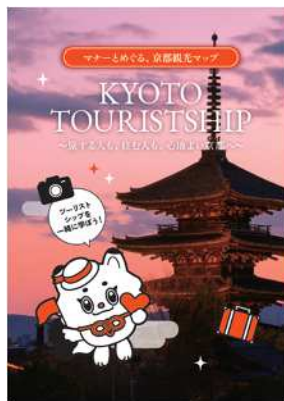
<実施時期> 10月初旬頃から順次配架予定

<配架先> 京都総合観光案内所他

※各主イベント等でも適宜配架

<多言語対応> 日・英・中（繁体字・簡体字）

<作成部数> 約9万部



京都観光マップ（イメージ）

○ 継続して実施する観光マナー啓発

- ・「KYOTO TOURISTSHIP」のイラスト等を活用した観光客へのマナー啓発を実施
- ・日本政府観光局（J N T O）等の関係機関と連携した情報発信



（画像は昨年度のもの）

充実 花見小路周辺へのマナー啓発員の配置

「祇園町南側地区からのメッセージ」（令和5年12月）を踏まえて、引き続き、観光シーズンにマナー啓発員を配置

<実施時期>

通年配置に加え、秋の観光シーズン等に増員配置（4人体制→8人体制）

増員配置期間（国慶節：10/1(木)～10/7(水)）

（秋の観光シーズン：11/16(月)～12/6(日)）

充実 伏見稲荷大社周辺へのマナー啓発員の配置

伏見稲荷大社周辺（裏参道交差点付近等）にマナー啓発員（3人）を配置

<実施時期>

国慶節：10/1(木)～10/7(水)

秋の観光シーズン：11/16(月)～12/6(日)

伏見稲荷大社等による警備員・誘導員の配置

- ・伏見稲荷大社において、周辺に警備員を配置
土日祝や祭事の際は増員対応。
- ・秋の観光シーズンには、鉄道等関係機関等において、誘導員を配置

地域・事業者と連携した散乱ごみ対策

地域の実情に応じた散乱ごみ対策を、それぞれの地域の住民や事業者等とともに企画・実施。

<主な取組例：嵐山地域>

地域、事業者、行政の3者が集う「嵐山ごみ課題サミット」の開催を重ね、地域ならではの対策を議論（今年度は計3回開催済み）。

今年は「嵐山に ごみは あらしまへん」をキャッチフレーズに、もなか等を素材とする食容器（食べられるスプーン等）の導入や、商品包装の簡素化・省略など、ごみの減量の取組を中心に実施予定（11月頃）。



昨年度の主な取組の様子

- ・左上：複数店舗で展開した、もなか等を素材とする「食べられるスプーン」
- ・左下：ごみを店舗に返した方へ贈呈する記念品（オリジナルのお守り）
- ・右上：毎日15時頃にオリジナル曲を流しながら店先を清掃する「クリーンタイム」

新規 観光地美化推進調査事業

東山地域、伏見稲荷大社周辺の2地域において、ごみのポイ捨ての発生状況を把握するための実地調査を実施。調査結果を活用した、各地域の実情に応じたきめ細かな対策実施に向け、龍谷大学の学生（ゼミ）とも連携しながら、地域の住民や事業者との意見交換等を実施。

<調査時期> 令和8年度中の200日程度



調査の様子

- ・左：調査員による調査
- ・右：龍谷大学の学生による調査体験

街頭ごみ容器の運用

○ スマートごみ箱の運用

計18か所37基のスマートごみ箱を運用。

<令和8年度の設置（既設の通常容器との置換）>

① 東山地域（2基）

- ・寄付者：音羽山 清水寺及び補陀洛山 六波羅蜜寺
- ・設置日：5/27(水)
- ・設置場所：清水道バス停（南行）付近
※京都銀行の所有地の一部を活用し設置

② 伏見稲荷大社周辺（3基）

- ・寄付者：(株)木下カンセー、(株)フォーステック
- ・設置日：6/22(月)
- ・設置場所：稲荷児童公園



○ 収集回数の追加

ごみが溢れないよう、ごみ量が特に多い容器の収集回数を追加

<実施場所・時期>

祇園地域、三条河原町（11月頃、紅葉の見頃を踏まえて調整）

新規 SNS参加型プロジェクト

観光客等に「フォロー」を通じてプロジェクトに参加いただくことで、フォロワーを中心に『みんなで京都を綺麗にする』という共通の目的意識の醸成を図り、ポイ捨て防止等を図る、公民連携企画。

<実施時期> 5月から実施中

フォロワー
8千人を突破！



専用アカウント（Instagram）

地域と連携した市民生活と観光の調和推進事業補助制度

令和7年度から「散乱ごみ対策に資する取組」を補助事業の一項目として明確化し、必要経費を補助するとともに、その取組内容の検討段階から助言等を行う伴走支援を実施（補助率：対象経費の1/2（上限150万円）。5月から募集開始済）

<各写真は、昨年度実施時のもの>

○嵐山商店街と連携した取組

- ・長辻通（竹林の小径入口前）にマナー啓発員を配置（2名程度を予定）

<実施時期> 11月中旬～12月上旬



※写真は混雑する長辻通

○栂屋町親交会と連携した取組

- ・維新の道と二年坂の交差点にマナー啓発員を配置
- ・秋の観光シーズンには増員配置を検討

<実施時期> 通年実施



○東山「観光・交通・環境」協力会議と連携した取組

- ・東山エリアの主要な交差点に交通誘導員を配置
- ・具体的な配置場所は今後検討

<実施時期> 10月下旬～12月上旬の土日



○伏見稲荷周辺の住みよいまちづくり推進協議会と連携した取組

- ・多言語表示による観光マナー啓発ポスターを制作

<実施時期> 9月頃掲出

- ・シルバー人材センターによる観光客の歩行マナー指導や地域のごみ拾いを実施

<実施時期> 通年実施



○祇園町南側地区協議会と連携した取組

- ・マナー啓発員の配置
- ・地域主体による観光マナー周知活動
- ・シルバー人材センターによるごみ拾い

<実施時期> 10月頃から順次実施



（参考）令和7年度における補助制度の活用実績

- ・計13団体から申請（うち散乱ごみ対策に資する取組3団体）

<主な取組例>

祇園地域：私道における写真撮影や進入禁止を啓発する高札の設置
嵐山地域：「食べられるスプーン」を活用したごみ減量の取組 等

観光に対する共感の輪の拡大

課題認識

- ・「持続可能な観光」の基盤として、観光関連事業者・従事者等、観光客、市民の三者が、お互いに尊重しあい、京都の魅力を大切にする気持ちを共に育てていく関係づくりを促進する必要がある。
- ・多くの市民が観光の重要性を認識している一方、観光がもたらす具体的な効果が市民に十分に伝わっていない。

対策の方向性

- ・観光関連事業者・従事者等による「京都観光モラル」に沿った取組の積極的な推進を促す。
- ・観光の意義や効果に関して、市民向けに分かりやすい情報発信を継続して実施。宿泊税についても、宿泊税の見直しを踏まえ、引き続き対象に応じた情報発信を実施

宿泊税の使途の見える化等に向けた広報の推進

- ・使途に関する紹介動画をSNSや京都市情報館で継続して発信
- ・京都総合観光案内所等でのポスター掲示やチラシ配布
- ・京都総合観光案内所、市役所・区役所・支所、イオン五条・洛南、ＪＲ京都駅南北自由通路などでのデジタルサイネージの掲出
- ・税額及び使途に関するチラシ等を宿泊施設に配布
- ・税関係の本市封筒に動画へのQRコードを掲載
- ・各局の宿泊税活用事業における使途の広報



観光効果の見える化・観光に対する市民共感の輪の促進

市民向けサイト「LINK!LINK!LINK!」において、引き続き観光関連事業者が提供する割引等の市民限定サービスや、観光が京都にもたらす意義・効果、課題とその対策等を発信



市民生活と調和・両立した持続可能な観光促進に向けたインバウンドへの情報発信

- ・海外に設置している海外情報発信・収集拠点（ニューヨーク、ロサンゼルス、ロンドン、パリ、シドニー、台北、上海、シンガポール、ミラノ）における京都観光モラルやマナー等に関する情報発信
- ・海外有力メディアや海外インフルエンサーの発信力を活用した京都観光モラルやマナー等に関する情報発信

観光事業者による「京都観光モラル」普及促進事業及び優良事業者の選定

<実施時期> 5/12(火)から募集中（～3/31(水)）

京都観光オフィシャルサイトを通じた情報発信

新規（参考）「市バス等の市民優先価格」の実現に向けた検討状況

<実施内容>

- ・マイナンバーカードと交通系ＩＣカード等を紐づけ、市民と市民以外を識別するシステムを令和８～９年度に構築する。
- ・市民優先価格の制度内容等を、市民しんぶんへの掲載をはじめ、地下鉄・バス車内や駅構内での広告のほか、Ｗｅｂ上での発信など、様々な媒体を通じて事業開始前から周知・ＰＲを行う。
- ・広く市民に市民優先価格の効果を実感いただくため、民間バスにも参画を求めており、令和８年度は、識別システムの導入費について、本市から民間バスに支援を行う。

3 モニタリング項目等

- ・ 令和12年に向けて目指す値 (23ページ)
- ・ モニタリング項目 (1) (24ページ)
- ・ モニタリング項目 (2) (25ページ)
- ・ モニタリング項目 (3) (26ページ)

「京都観光・MICE振興計画2030」で推進する3つのプロジェクト（2ページ参照）のそれぞれに、「令和12年に向けて目指す値」を設定。長期的にはこの値に留まらず、可能な限り数値を伸ばすよう取り組んでいく。

「市民生活と観光の調和推進プロジェクトチーム」に関連する「目指す値」は次のとおり。

< 令和12年に向けて目指す値 >

○京都観光に関する市民意識調査「混雑やマナー違反に迷惑している市民の割合」

（直近値） R5：(77.3%)、R6：(80.1%)、R7：(79.9%)

（目指す値） R12：0%

※ 「公共交通機関の混雑」「道路の混雑」「一部観光地の混雑」「観光客のマナー違反」のうちいずれか1項目以上で「大変迷惑している」又は「迷惑している」と回答した市民の割合（R6までは「迷惑した」かどうかを調査）

○京都観光に関する市民意識調査「観光が重要な役割を果たしていると思う市民の割合」

（直近値） R5：72.7%、R6：70.6%、R7：70.1%

（目指す値） R12：75.0%

<分散化・周遊観光の推進関連>

○位置情報データやA Iカメラデータを用いた訪問者数の比較

- ・市内約30か所に設置しているライブカメラ映像をA I画像解析したデータを用いて、各地点における訪問者数を把握（直近値は「令和8年春・GWの取組結果」参照）

○京都観光総合調査「観光客の月別繁閑差」

（閑散期と繁忙期の差）H15：3.6倍、R1：1.3倍、R6：1.3倍、R7：1.3倍

○京都観光総合調査「朝観光を体験した観光客の割合」

（直近値）R5：日本人 33.8％ 外国人 69.6%、R6：日本人 32.5％ 外国人 69.4%、R7：日本人 32.0％ 外国人72.4%

○京都観光総合調査「夜観光を体験した観光客の割合」

（直近値）R5：日本人 35.1％ 外国人 78.7%、R6：日本人 36.5％ 外国人 78.9%、R7：日本人 32.9％ 外国人 81.2%

○京都観光総合調査「「とっておきの京都」エリアを1つ以上訪問した日本人観光客の割合」

（直近値）R5：11.9%、R6：12.1%、R7：10.1%

○京都観光に関する市民意識調査「一部観光地の混雑を経験して迷惑している市民の割合」

（直近値）R5：66.4%、R6：71.4%、R7：70.6%

※ R6までは「迷惑した」かどうかを調査

<道路の混雑対策関連>

○京都観光に関する市民意識調査「道路の渋滞に迷惑している市民の割合」

（直近値）R5：61.1%、R6：60.3%、R7：55.9%

※ R6までは「迷惑した」かどうかを調査

○観光バス路上滞留啓発件数

観光シーズンに市内各所で実施している啓発活動のうち、主要幹線道路における啓発件数（1日当たりの件数）

（直近値）御池通 R5：82件、R6：51件、R7：59件 烏丸通 R5：37件、R6：38件、R7：53件 五条通 R5：49件、R6：41件、R7：38件

<道路の混雑対策関連> （前ページからのつづき）

○清水坂観光駐車場と東大路通間の所要時間

駐車場と東大路通間の約300mの平均所要時間（（ ）内は完全予約制実施前との比較）

（直近値）	R6秋（完全予約制実施前）	東行（上り）	6分56秒	西行（下り）	19分33秒
	R6秋（〃 実施中）	〃	3分03秒（△56%）	〃	11分39秒（△40%）
	R7春（〃 実施中）	〃	2分46秒（△60%）	〃	8分09秒（△58%）
	R7秋（〃 実施中）	〃	2分45秒（△60%）	〃	5分52秒（△70%）
	R8春（〃 実施中）	〃	1分47秒（△74%）	〃	5分39秒（△71%）

○バスの無断キャンセル件数

（直近値）R7春：1日平均30台、R8春：1日平均6台

○修学旅行バスの予約確保

R8春：修学旅行バス台数2,083台のうち、優先予約の利用が1,537台（74%）

<市バスの混雑対策関連>

○市バス・地下鉄の旅客数

（直近値）市バス：（R6実績）340千人、（R7実績）346千人/日
地下鉄：（R6実績）402千人、（R7実績）416千人/日

○観光特急バスの利用者数

（直近値）R6秋：3,340人/日（11/23～12/1）、R7春：3,269人/日（3/29～4/6）
R7秋：3,323人/日（11/22～11/30）、R8春：3,525人/日（3/28～4/5）

○京都観光に関する市民意識調査「公共交通機関の混雑を経験して迷惑している市民の割合」

（直近値）R5：62.4%、R6：67.0%、R7：63.8%
※ R6までは「迷惑した」かどうかを調査

<手ぶら観光の推進関連>

○大型手荷物の携行者数

観光シーズンにおいて、京都駅前市バスのりば（D2のりば）の乗客数に対する大型手荷物携行者数の割合
（直近値）R6秋：約2%、R7春：約4%、R7秋：約3%、R8春：約4%

< 京都駅一極集中の緩和関連 >

○京都観光に関する市民意識調査「公共交通機関の混雑を経験して迷惑している市民の割合」【再掲】

（直近値）R5：62.4％、R6：67.0％、R7：63.8％

※ R6までは「迷惑した」かどうかを調査

< 観光マナー啓発・散乱ごみ対策関連 >

○京都観光に関する市民意識調査「観光客のマナー違反に迷惑している市民の割合」

（直近値）R5：47.7％、R6：55.0％、R7：56.3％

※ R6までは「迷惑した」かどうかを調査

○マナー啓発員による啓発件数（祇園町南側地区）（1人当たりの啓発件数）

（芸妓・舞妓への無許可の写真撮影）	R6春・GW	： 2.4件、	R6秋	： 1.2件、	R7春・GW	： 1.1件、	R7秋	： 0.9件、	R8春・GW	： 1.4件
（禁じられた場所の写真撮影）	〃	： 8.6件、	〃	： 7.6件、	〃	： 5.5件、	〃	： 6.0件、	〃	： 7.5件
（道路（主に車道）をふさぐ行為）	〃	： 11.6件、	〃	： 11.5件、	〃	： 10.3件、	〃	： 4.3件、	〃	： 5.2件
（食べ歩き）	〃	： 12.0件、	〃	： 5.5件、	〃	： 7.4件、	〃	： 4.3件、	〃	： 3.6件
（団体・集団への移動願い）	〃	： 5.1件、	〃	： 4.1件、	〃	： 5.2件、	〃	： 3.7件、	〃	： 3.2件
（その他（無断立入・覗き込み））	〃	： 14.1件、	〃	： 6.1件、	〃	： 7.4件、	〃	： 4.6件、	〃	： 4.4件

○京都観光総合調査（外国人の満足度）「まちの清潔さ」

（直近値）R5：98.0％、R6：97.7％、R7：98.1％

< 観光に対する共感の輪の拡大関連 >

○京都観光事業者実態調査「「地域との調和」につながる行動をとっている事業者の割合」

（直近値）R5：51.0％、R6：49.0％、R7：70.2％

※ R7から設問設計を変更（R6までは5段階評価。R7からは「はい」、「いいえ」、「対象外」の3択）のうえ調査

○京都観光総合調査「訪問地域を思いやる行動をとった観光客の割合」

（直近値）R5：日本人 67.0％ 外国人 80.2％、R6：日本人 67.6％ 外国人 75.5％、R7：日本人 58.8％ 外国人 78.0％

○京都観光総合調査「意識して混雑を避ける行動を取った観光客の割合」

（直近値）R7：日本人 50.9％ 外国人 54.0％ — ※ R7から新たに調査

○観光客による京都観光モラル宣言者数

（直近値）R6：1,623人（日本人：1,412人 外国人：211人）、R7：3,860人（日本人：2,738人 外国人：1,122人）

○京都観光に関する市民意識調査「京都市が観光で評価されることを誇りに思う市民の割合」

（直近値）R5：64.9％、R6：65.8％、R7：65.2％

○京都観光に関する市民意識調査「市民による市内観光の頻度」（半年に1回以上）

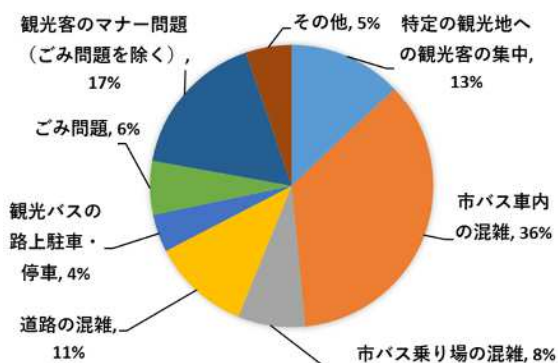
（直近値）R5：44.9％、R6：44.3％、R7：39.6％

4 市民意見募集の結果

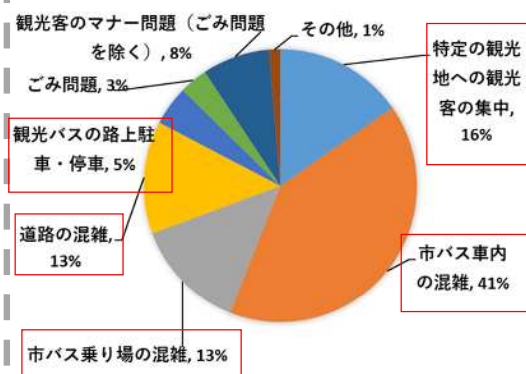
※「観光課題とその対策等に関する御意見の募集」（令和8年4月28日報道発表資料）参照

- 回答数は650件（7月時点）。昨年度は1,325件
- 回答者の年齢層では、40歳代が最多（26％）で、30代～60代を中心に回答が集まった。回答者の居住地に関する項目では、市内在住者は86％、市外在住者（市内に勤務・通学、観光客など）は14％
- 観光課題を経験した場所では、東山地域（23％）が最多、続いて京都駅周辺（17％）
- 昨年度と同様に、「特に印象に残った観光課題」は地域ごとに異なる結果となった。

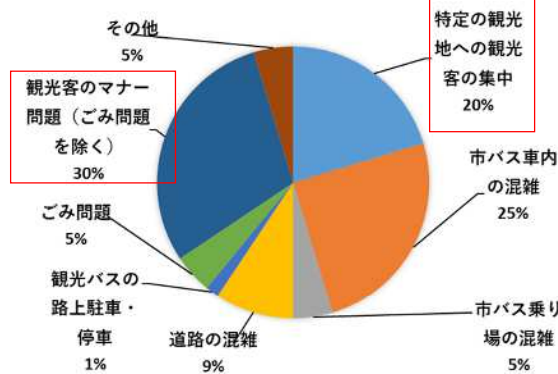
全体
(回答数：650件)



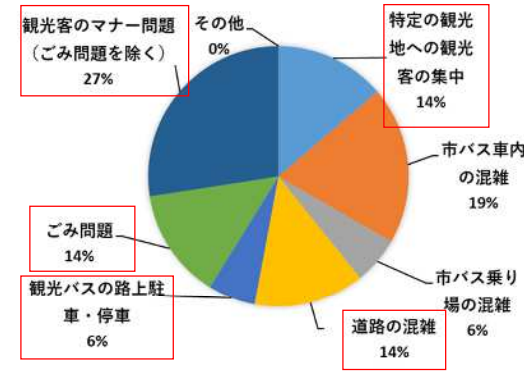
東山地域
(回答数：150件)



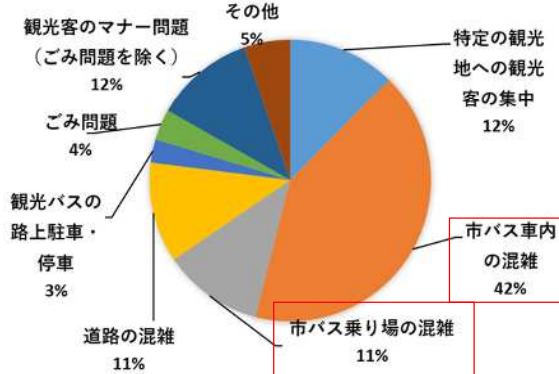
嵐山地域
(回答数：64件)



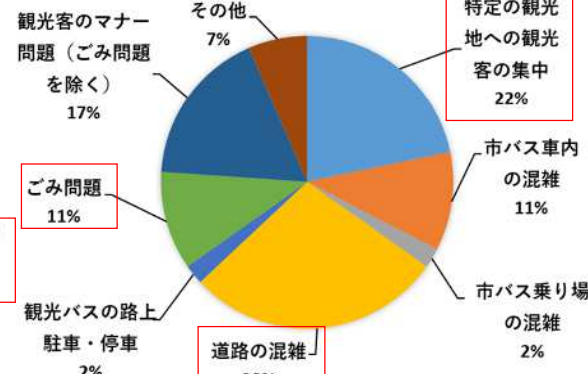
祇園地域
(回答数：51件)



京都駅周辺
(回答数：113件)



伏見稲荷周辺
(回答数：46件)



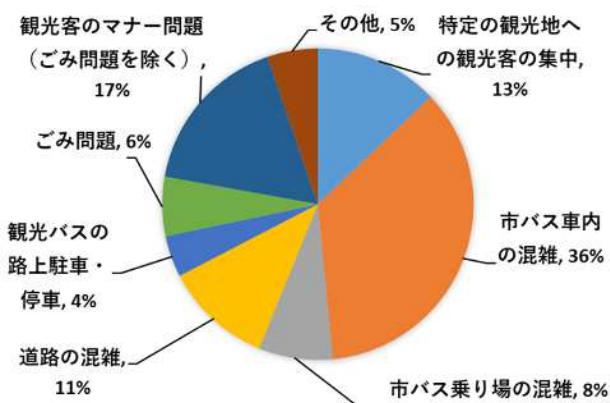
は地域別での数値が全地域における割合より高い項目

【全体】

- ・「市バスの混雑」が4pt増。主要5地域のうち、嵐山地域・祇園地域以外で上昇しており、課題がより顕在化している状況
- ・「観光客のマナー問題」（ごみ問題を除く）は7pt減。依然として高い数値ではあるが、嵐山地域以外は減少している。

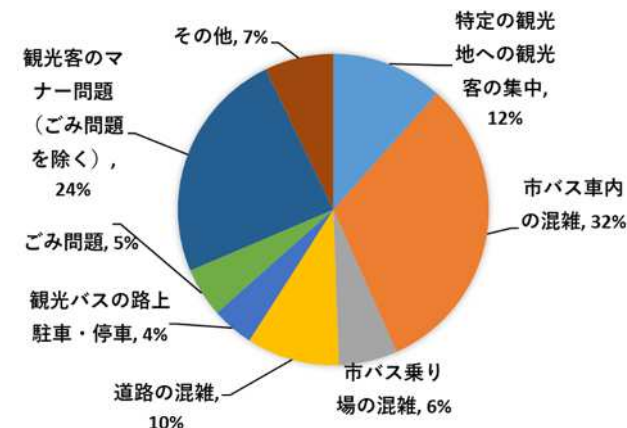
令和8年度（今回）

（回答数：650件）



令和7年度（前回）

（回答数：1,325件）

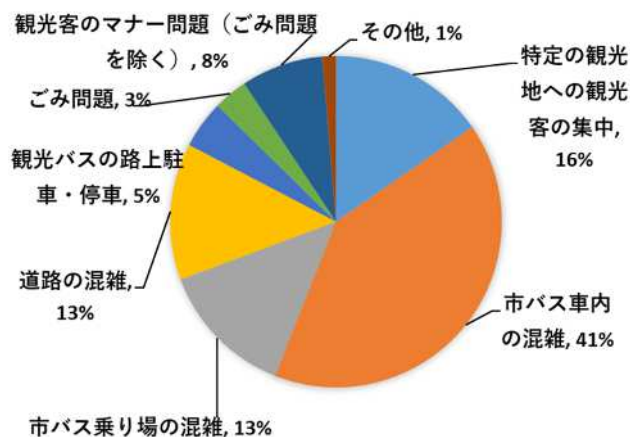


【地域別①】 東山地域

- ・「市バスの混雑」は7pt増
- ・「観光客のマナー問題」（ごみ問題を除く）が10pt減
- ・「特定観光地への集中」が同率、「道路の混雑」が2pt増と横ばい

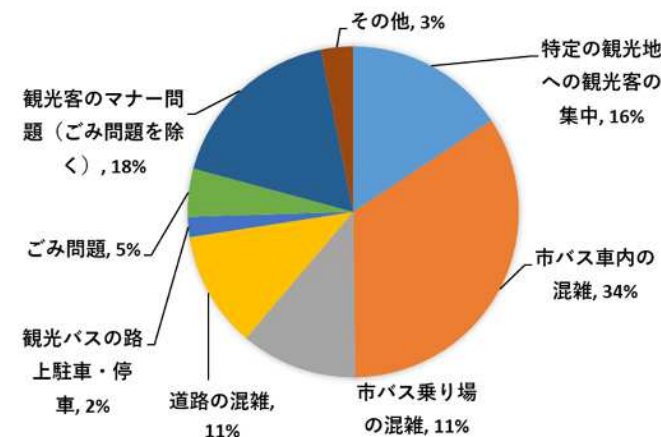
令和8年度（今回）

（回答数：150件）



令和7年度（前回）

（回答数：255件）

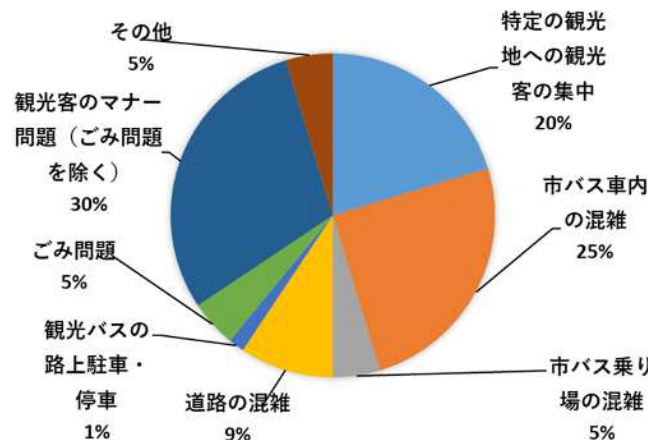


【地域別②】 嵐山周辺

- ・「観光客のマナー問題」が11pt増と大幅に増加。全体の30%を占めている。
- ・「市バス車内の混雑」は5pt減したものの、2割以上を占めている。

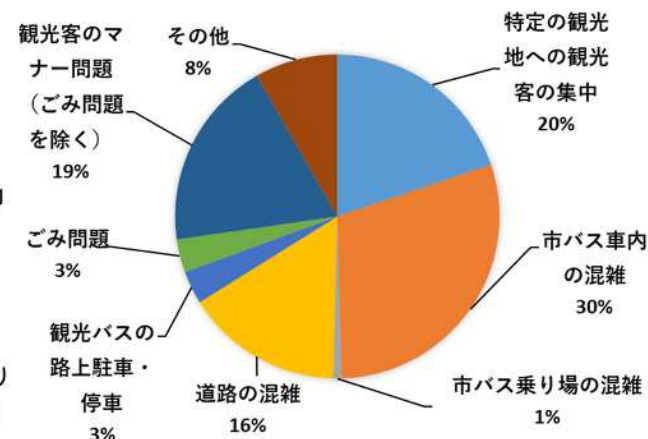
令和8年度（今回）

（回答数：64件）



令和7年度（前回）

（回答数：121件）

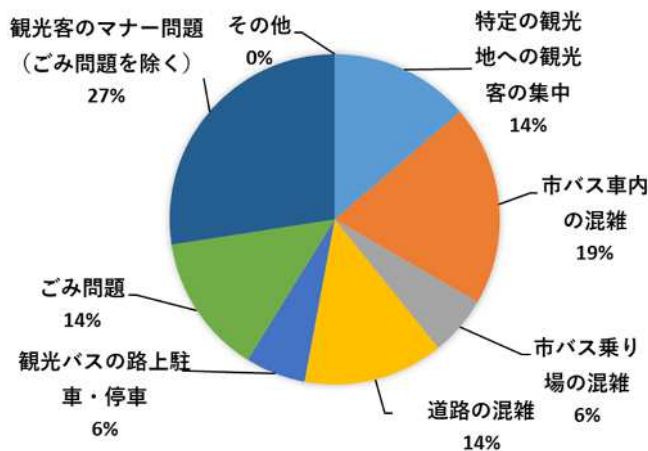


【地域別③】 祇園地域

- ・「ごみ問題」が4pt増
- ・「観光客のマナー問題（ごみ問題を除く）」は3pt減したものの、全体の約3割を占めている。

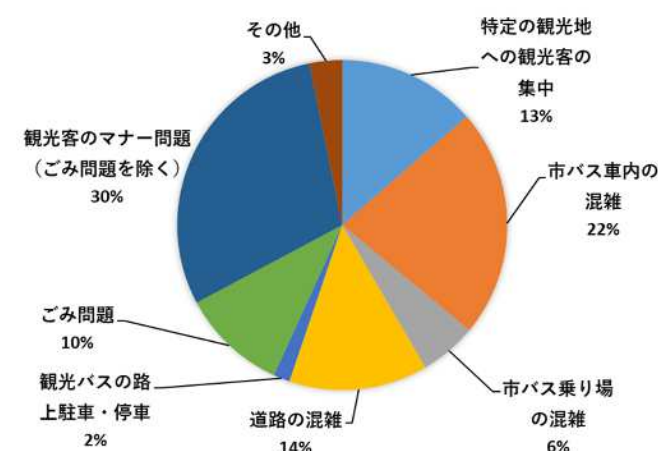
令和8年度（今回）

（回答数：51件）



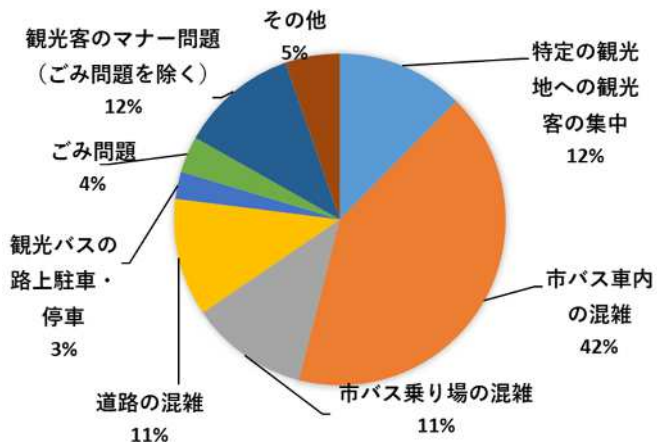
令和7年度（前回）

（回答数：125件）

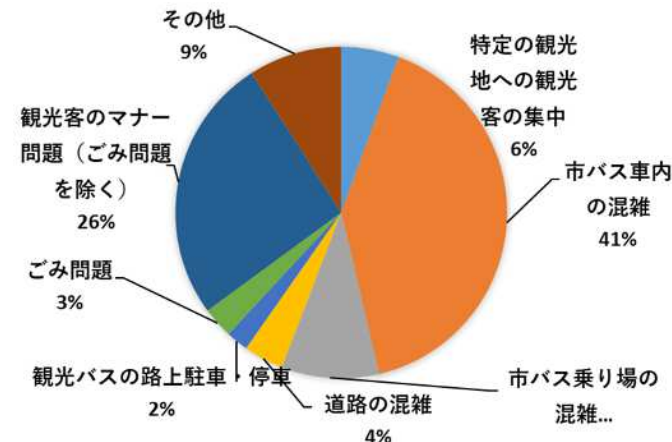


- ・「市バスの混雑」が1pt増と横ばい。依然として京都駅周辺の4割を超える状況
- ・「観光客のマナー問題（ゴミ問題を除く）」は14pt減

(回答数：113件)

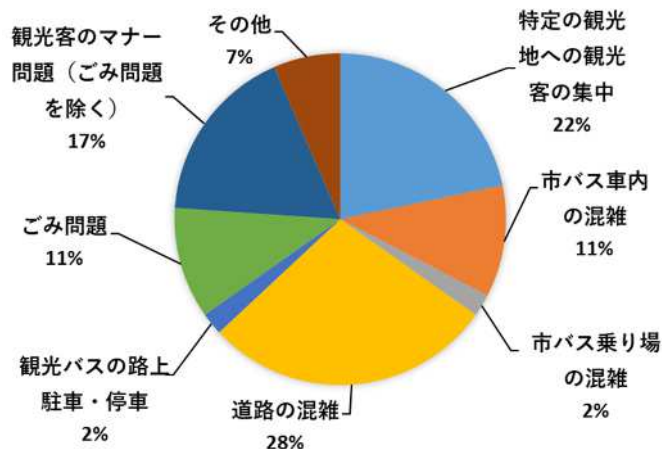


(回答数：231件)

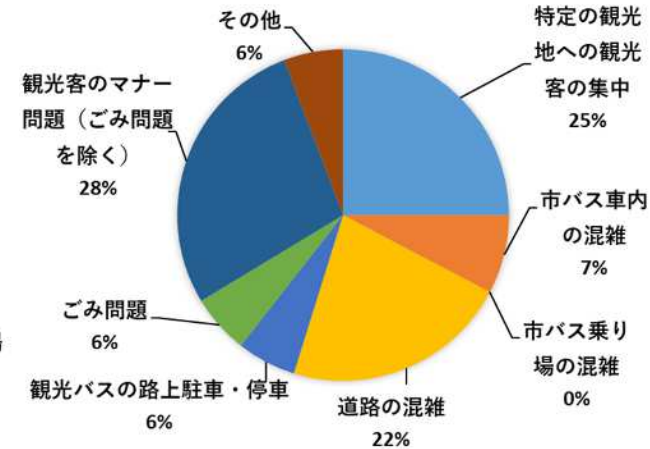


- ・「道路の混雑」が6pt増
- ・「観光客のマナー問題（ごみ問題を除く）」は11pt減。

(回答数：46件)



(回答数：104件)



○自宅周辺において、生活する上で感じる観光客のマナー違反行為による困りごと

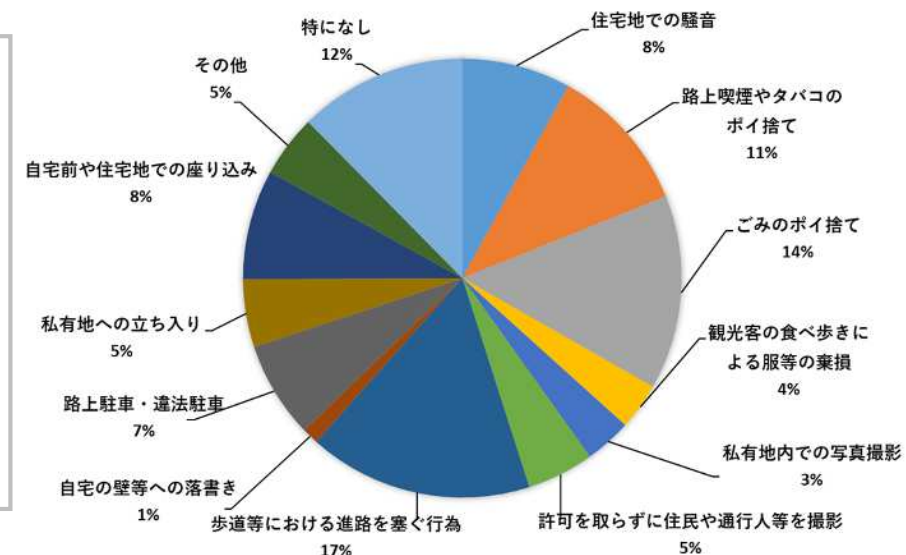
※R8年度から新たに立てた設問

- ・歩道等における進路を塞ぐ行為 17%
- ・ごみのポイ捨て 14%
- ・路上喫煙やたばこのポイ捨て 11%

<その他意見（自由記述）>

- ・私有地内への立ち入りや覗き込みに恐怖を感じる。
- ・玄関先等に外国人観光客が座り込んでいる。
- ・スーツケース（大型手荷物）の持ち込みにより、バスの乗降ができない。

【全体】



○以前に比べて改善又は緩和していると感じる観光課題

- ・特になし 52%

⇒「観光バスが路上に長時間駐車して通行の邪魔になることが減った。」、「大声で騒ぐ集団が減った。」と肯定的な意見も一部見られたが、約半数がいずれの観光課題に対しても改善又は緩和を感じていない状況であるため、継続して取り組んでいく必要がある。

【全体】

